全 体 会 に つ い て

日程および会場

日　時　平成２４年１０月５日（金）９：００～１５：５０
会　場　福井県立嶺南東養護学校
日　程

9:00	9:30	9:45	10:30	10:45	11:30	11:35	12:20	13:20
受付	開会式	全体会	移動	指定授業(小低･小高) 公開授業(中・高)	移動	指定授業(中･高) 公開授業(小低・小高)	昼　食	

13:20	14:20	14:35	15:40	15:50
ポスターセッション	移動	授業研究会	ｱﾝｹｰﾄ記入後解散	

§開会式

あいさつ　　福井県養護学校教育研究会会長
祝　　辞　　福井県教育委員会

§全体発表

主管校テーマ　　「一人一人の思いを読み取り、自己実現を目指す授業づくり
～ＩＣＦの理念に基づいた取り組み～　　」

ＩＣＦの理念を参考にした校内研究の取り組みについて、これまでの 2 年間の経過と今年度の取り組みについて紹介する。

§ポスターセッション

小学部・中学部・高等部・寄宿舎の取り組みについて紹介し、参加者と意見交換を行う。

ﾌﾞｰｽ	学部	テーマ
1	小学部（低）	「ぼく○○がしたいなあ・・・」～本児が楽しい学校生活を送るために～
2	小学部（低）	やりたい、知りたい、わかりたい願い・思いを実現するための支援の工夫
3	小学部（低）	朝の会の司会がしたい～「できる」「できた」を育む授業のつながり～
4	小学部（高）	子どもたちの思いを取り入れた授業づくり～修学旅行での取り組み～
5	中学部	調理活動を中心に取り組んだ生徒の事例
6	高等部	作業学習における生徒（１年）の事例
7	高等部	現場実習でミシンに出会って変化した生徒（２年）の事例
8	高等部	自己認識力を高めた生徒（３年）の事例
9	寄宿舎	子どもの願いをもとにした活動を通して、自分で気づき、考える力を育てるための取り組み（ホップグループ、ステップグループ、ジャンプグループから１事例ずつ）
10	寄宿舎	
11	寄宿舎	

§公開授業　　１８の公開授業を実施する。

§指定授業および授業研究会

４つの指定授業を実施。児童生徒の思いを大切にした授業づくりについて、協議の視点に基づき、意見交換や研究協議を行う。

小学部低学年　遊びの指導　「　ぐんぐんランドで遊ぼう！　」

【協議の視点】○子どもの思いや願いを読み取った支援ができていたか。

【助　言　者】金沢大学人間社会研究域　学校教育系　教授　吉川　一義　氏
福井県教育庁　高校教育課　特別支援教育室　主任　田上　博一　氏

小学部高学年　生活単元学習　「　学校祭だ、がんばろう!　」

【協議の視点】○個々が設定した目標に対し、明確に自己評価ができる振り返りシートであったか。
○課題点、達成点に気づかせ、今後につながる支援ができていたか。
○自己評価や他者評価など多面評価により、自己肯定感につなげる支援ができていたか。

【助　言　者】嶺南教育事務所特別支援教育課　指導主事(特別支援教育)　奥野　百合子　氏
金沢大学附属特別支援学校　教官　柳生　美由季　氏

中 学 部　作業学習　「　祝儀袋の製作、作業学習の振り返り　」

【協議の視点】○作業学習において、子どもの主体性を引き出すための手だての工夫について。
○子どもが、自分の課題を的確に捉え、前向きに作業学習に取り組むための振り返りの工夫について。

【助　言　者】福井県特別支援教育センター　指導主事　桝田　聖子　氏
金沢大学附属特別支援学校　教官　新保　利久　氏

高 等 部　作業学習　「　木工製品の製作　」

【協議の視点】　○目標が具体的で明確になるように導く支援ができていたか。
○即時評価により、課題点や達成点に気づかせる支援ができていたか。
○自己評価や他者評価など多面評価により、自己効力感につながる支援ができていたか。
○生徒が気づいていない部分にせまり、次時への課題設定につなげる支援ができていたか。

【助　言　者】　福井県教育庁　高校教育課　特別支援教育室　主任　大﨑　忠久　氏
金沢大学附属特別支援学校　教官　下野　令子　氏